

第1学年A組 技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

1 題材 「環境や資源に配慮した生活を工夫しよう」

2 指導観

本学級の生徒たちは、これまでに題材「マイ箸袋の製作にチャレンジしよう」において、まつり縫いやボタン付けなどの補修の技術を活用した「箸袋の製作」を経験している。学習後のアンケートでは、マイ箸袋を日常生活の中で活用している生徒は、33名中9名(27%)であることがわかった。

また、小学校での学習経験を尋ねたアンケートから、99%の生徒が、教科や総合的な学習の時間等を通じて、環境について学習していることがわかった。特に環境については、「あき缶のリサイクル」「水問題」「ごみ問題」などを学習内容として回答していた。日常生活で、環境に配慮した取組としては、「ごみの分別」(67%)、「水の節約」(51%)、「省エネルギー」(40%)、「エコバッグの利用」(39%)であった。これらのことから、環境問題について学習し、環境に配慮した取組の必要性を理解しているものの、自らすすんで実践しようとする態度にまで高まっていないという実態がうかがわれる。このことから、「環境問題を生徒自らの身近な問題としてとらえさせること」「大きな一歩の取組ではなく、身近で今すぐにできる小さな取組の積み重ねの大切さを実感させること」ができれば、日常生活で実践しようとする態度をはぐくむことができると考える。

現在、私たちは大量生産・大量消費という経済体系の社会で生活している。このような社会では、経済的な利益や利便性を追求している代償として、資源の枯渇や地球温暖化・オゾン層の破壊など環境への影響が深刻な問題となっている。その結果、自然や環境に目を向け、環境や資源に対して配慮した生活を送ることが重視されている。

そこで、本題材では、自分の生活を振り返り環境に配慮しながら、自分や家族のよりよい生活を目指して、自ら判断して選択し、行動できるようになることをねらいとしている。主な学習内容としては、福岡市や自分が住んでいる地域の環境の現状、環境破壊の原因、環境に配慮した取組、日常生活での実践などがある。環境や資源に配慮した生活が送れるように、家庭でできる取組を多様な視点から検討して、日常生活の中で実践しようと思決定し、実践することをとおして、自分や家族の生活の状況に応じて判断し、試行錯誤を重ねて取組を工夫し、実践しようとする態度をはぐくむことができると考える。

このことは、バランスのとれた適切な思考力・判断力をはぐくみ、学んだ知識・技術を選択・活用していくことにつながり、意義があると考えられる。

本題材の指導にあたっては、ねらいを達成するために、夏の課題レポートでの実践をもとに、環境に配慮した取組を提案して交流し、それらの取組を4つの視点(継続性、快適さ、経済性、労力)から検討し選択・決定する場を設定し、家庭で実践し、発信する活動を仕組む。

そのためにまず、前題材で作成したマイ箸袋を製作した理由について考える場を仕組み、環境に配慮することの大切さに気づかせるようにする。その後、環境に配慮した取組を実践する課題を設定する。次に、環境問題を身近な問題としてとらえさせることができるように、福岡市の環境問題の現状として、水、ゴミ、省エネルギーの実態を示したプレゼンテーションを提示し説明する。また、実践をもとに、環境に配慮した取組を4つの視点から検討し、おすすめの取組を提案する活動を設定する。その際、環境問題に配慮した取組を紹介するパンフレットや課題レポートを集めておき、いつでも見ることができるよう準備しておく。さらに、水、ゴミ、省エネルギーをテーマとする班からの環境に配慮した取組を提案する場を設定する。その際、学習プリントの形式を工夫して発表原稿とし、提案する理由も簡潔に述べるできるように指示する。その後、自分や家族の生活状況を考慮しながら、環境に配慮した取組を選択・決定できるように、4つの視点からさらに検討する場を設定する。その際、家庭で実践する取組を決めかねている生徒には、机間指導をして夏休みの課題レポートを振り返らせたり、家庭の実践状況について質問したりして、実践できそうな取組をアドバイスする。最後に、提案を参考に選択・決定した環境に配慮した取組を家庭で実践した後、まとめて「環境おすすめガイド」を作成し、環境に配慮した取組を学校・地域とともに実践できるように、実践事例集として公民館などの諸施設に掲示してもらうなど、地域に発信する活動を仕組む。

3 目標

自分や家族の生活を振り返り、環境や資源に配慮しながら、よりよい生活を実践しようとする。

環境や資源に配慮しながら、自分や家族にとって、よりよい生活を工夫する。

生活の中で、水、エネルギー、資源などを環境に配慮しながら活用することができる。

環境に影響を及ぼしている要因と問題点を理解する。

4 指導計画・評価計画（5時間）

	学習活動・内容	指導上の留意点	配時	評価規準
	<p>1 マイ箸袋をなぜ作ったかを考えることを通して、環境への配慮をすることの大切さを考える。 ・マイ箸の利用 ゴミの減量化</p> <p>2 環境のことを考えて、自分ができていることを考える。 ・風呂の残り湯の洗たくへの活用 ・エコバッグの利用 ・スイッチによる節電の徹底 ・マイ箸袋の活用 など</p>	<p>前題材で製作したマイ箸を利用することで、割り箸の使用を減らすとともに、ゴミの減量化や森林の保全につながることを説明する。</p> <p>夏休み中に各家庭で実践するように指示する。</p>	1	<p>関：自然環境を守ることに興味をもつ。 <学習プリント分析></p>
	<p>3 環境に配慮した取組を実践する。 ・実践レポート</p>		課外	
	<p>4 環境を考えた取組を紹介する。 <テーマ> 水、ゴミ、省エネルギー、森林保全、その他</p> <p>5 福岡市の現状について、教師の説明を聞き、環境問題に気づく。 ・博多湾の水質汚染 ・ゴミの量の増加 ・ヒートアイランド現象 など</p> <p>6 福岡市の現状を改善するために、家庭で実践できることを班で考え、発表する。 ・こまめな節水 ・リサイクルの活用 ・エアコンの温度調節 など</p> <p>7 各班の発表をもとに、4つの視点（継続性、快適さ、経済性、労力）で取組を検討する。</p> <p>8 班で話し合い、提案するためのおすすめの実践取組を1つに焦点化し、学級に発表する準備をする。 ・テーマごとのおすすめの実践取組</p>	<p>事前にレポートの実践内容をテーマごとに集約してまとめた資料を準備し配布する。 各テーマで、参考になる実践をした生徒を指名して発表する場を設ける。 市役所環境局やクリーンパークなどの関係諸機関から福岡市の現状を視覚的にアピールできる資料を入手し提示する。 水、ゴミ、省エネの3つの視点からグループを再編成する。 環境に配慮した取組を紹介した資料や夏休みのレポートなどを参考に示すように指示する。</p> <p>発表された取組を4つの視点から、取り組むことが可能かをどうか × で判定するように指示する。</p> <p>おすすめの実践取組について、おすすめする理由を明確にできるように学習プリントの形式を工夫し、発表原稿とする。</p>	2	<p>知：環境問題の現状を理解する。 <学習プリント分析・自己評価分析></p> <p>工：環境に配慮した取組についての考えに広がりが見られる。 <学習プリント分析></p> <p>知：環境に配慮した取組工を4つの視点から検討する。 <学習プリント分析></p>
本 時	<p>9 テーマごとに、福岡市の現状を改善するための実践取組案を考え、多様な視点から検討し、提案する。 (1)テーマごとに、取組を発表し合い、多様な視点から検討する。 4つの視点…継続性、快適さ、経済性、労力 (2)発表し、交流する。</p> <p>10 各グループからの発表を参考にして、自分の家庭で自分ができていることを考える。</p>	<p>班で提案する実践取組例とともに、提案する理由も簡潔に述べるように指示する。 環境問題の現状を視覚的にわかるようにまとめた資料を提示する。 自分の生活の状況を考慮しながら、4つの視点で取組を検討できるように学習プリントの形式を工夫するとともに指示する。</p>	1	<p>工：自分の生活の状況を考えながら、家庭で実践することが可能かどうかを判断し、環境に配慮した取組を決定する。 <学習プリント分析></p>
	<p>11 選んだ環境のための取組を自分の家庭で実践する。 ・エコレポート</p>	<p>自分の班のテーマ以外の取組も選ぶことができるようにして実践計画をたてるように指示する。</p>	課外	<p>関：これまでの学習の成果を生かし、家庭でできる環境に配慮した取組を実践する。 <レポート分析></p>
	<p>12 環境に配慮した取組をまとめて、「環境おすすめ実践ガイド」を作成し、学校・地域に発信する。 ・「環境おすすめ実践ガイド」</p>	<p>学校や公民館など、これまでの学習で、お世話になった公共施設へ「環境おすすめ実践ガイド」を配布し地域と交流する。</p>	1	<p>関：環境に配慮した取組を地域とともに進めていくことの大切さに気付く。 <学習プリント分析></p>

(1) 本時指導観

前時までには生徒たちは、夏の課題レポートでの実践をもとに、環境に配慮した取組を4つの視点(継続性、快適さ、経済性、労力)から検討し、おすすめの取組として提案する準備をしてきている。

そこで本時では、各班から提案された環境に配慮した取組を自分の家庭の状況を考慮しながら、家庭で実践する取組を4つの視点で、さらに検討して選択し決定することをねらいとする。そのために、まず、水、ゴミ、省エネルギーをテーマとする班からの環境に配慮した取組を提案する場を設定する。その際、学習プリントの形式を工夫して発表原稿とし、提案する理由も簡潔に述べるように準備する時間をとる。次に、福岡市の環境問題の現状を再確認するために、環境問題の現状を視覚的にわかるようにまとめた資料を提示する。さらに、自分や家族の生活状況を考慮しながら、環境に配慮した取組を選択・決定できるように、4つの視点からさらに検討する場を設定する。その際、家庭で実践する取組を決めかねている生徒には、机間指導をして夏休みの課題レポート振り返らせたり、家庭の実践状況について質問したりして、実践できそうな取組をアドバイスする。最後に、環境を守るためには、一人一人が小さな取組を継続して取り組むことの大切さについて気づかせるようにしまとめとする。

(2) 主 眼

自分の生活の状況を考えながら、家庭で実践する環境に配慮した取組を工夫し決定する。

(3) 準 備

教科書・ファイル 学習プリント 発表原稿 フラッシュカード 福岡市の現状を示す資料・具体物

(4) 指導過程

学習活動・内容	指導上の留意点 は評価規準 はCの状況の生徒への手だて	資料 教具	形態	配時 (分)
1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">家庭でできる環境のための取組を考えよう</div>	前時までには、4つの視点(継続性、快適性、経済性、労力)から検討した取組を班ごとにまとめ、発表の準備をしておくように指示する。		一斉	5
2 班ごとに環境のために家庭でできる取組案を提案する。 <予想される取組> ・適切な洗剤の量 ・ゴミを少なくする買い物の仕方 ・スイッチ付き延長コードの活用	発表の際には、班で提案する取組例とともに、提案する理由も簡潔に述べるように準備するよう指示する。 各班が提案する取組をまとめた掲示物を準備し、掲示する。 自分の家庭で実践できるかをチェックする時間をとる。		一斉 班 個	15
3 各班の発表を聞いて、自分の生活を振り返り、家庭でできる取組を決める。 (1)福岡市の現状を確認し、自分の生活実態を振り返る。 ・博多湾の水質汚染 ・ゴミの量の増加 ・ヒートアイランド現象 ・自分の生活実態 など	環境問題の現状を視覚的にわかるようにまとめた資料および取組の効果がわかるバケツやペットボトルの水、ゴミ袋などの具体物を提示する。 これまでの学習プリント及び資料などをファイルに累積させ、振り返ることができるようにしておく。		一斉	25
(2)各班の発表を参考にして、自分の家庭で、できる取組を決め、発表する。 <取組の例> ・必要最小限のシャワーの使用 ・家庭ゴミの分別・リサイクル ・保温効果のあるカーテンの利用 ・暖房器具の置き方の工夫 など	自分の生活の状況を考慮しながら、4つの視点で取組を検討できるように学習プリントの形式を工夫するとともに指示する。 各班の発表を聞いて、衣食住の生活に関連した取組を決定した生徒を中心に指名する。 自分の生活の状況を考え、家庭で実践することが可能かどうかを判断しながら、環境に配慮した取組を決定する。 <学習プリント分析> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">夏休みの課題レポートを振り返らせたり、家庭での実践状況について質問したりして、実践できそうな取組をアドバイスする。</div>		個 一斉	
4 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。 ・小さな取組でもよいから、家庭で継続して実践できるようになるう	選択・決定した取組を家庭で実践し、レポートで報告するように指示する。その際、地域への発信をすることもふれておく。		一斉 個	5

題材 「環境や資源に配慮した生活を工夫しよう」 評価規準表 (全5時間)

関：生活や技術への関心・意欲・態度，工：生活を工夫し創造する能力，技：生活の技能，知：生活や技術についての知識・理解

学習活動・内容	評価規準	配時	評価の判定基準	
			十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)
1 マイ箸袋をなぜ作ったかを考えることを通して、環境への配慮をすることの大切さを考える。 ・マイ箸の利用 ゴミの減量化 2 環境のことを考えて、自分ができることを考える。 ・風呂の残り湯の洗たくへの活用 ・エコバッグの利用 ・スイッチによる節電の徹底 ・マイ箸袋の活用 など	関：自然環境を守ることに関心をもつ。 <学習プリント分析>	1	・自分の生活のかわりの中で、自然環境を守ることに気づいた記述が見られる。	・自然環境を守ることに気づいた記述が見られる。
3 環境に配慮した取組を実践する。 ・実践レポート		課外		
4 環境を考えた取組を紹介する。 <テーマ> 水，ゴミ，省エネルギー，森林保全，その他 5 福岡市の現状について，教師の説明を聞き，環境問題に気づく。 ・博多湾の水質汚染 ・ゴミの量の増加 ・ヒートアイランド現象 など 6 福岡市の現状を改善するために，家庭で実践できることを班で考え，発表する。 ・こまめな節水 ・リサイクルの活用 ・エアコンの温度調節 など 7 各班の発表をもとに，4つの視点(継続性，快適さ，経済性，労力)で取組を検討する。 8 班で話し合い，提案するためのおすすめの実践取組を1つに焦点化し，学級に発表する準備をする。 ・テーマごとのおすすめの実践取組	知：環境問題の現状を理解する。 <学習プリント分析・自己評価分析> 工：環境に配慮した取組についての考えに広がりが見られる。 <学習プリント分析> 知：環境に配慮した取組を4つの視点から検討する。 <学習プリント分析>	2	・福岡市の環境問題の現状とその要因を説明することができる。 ・他の意見を取り入れ，環境に配慮した取組を工夫している。 ・環境に配慮した取組の良否に気づき，実践できるかどうかを判断することができる。	・福岡市の環境問題の現状を説明することができる。 ・他の意見を参考に，環境に配慮した取組を考えている。 ・環境に配慮した取組の良否に気づき，4つの視点から検討している。
本時 9 テーマごとに，福岡市の現状を改善するための取組案を考え，多様な視点から検討し，提案する。 (1)テーマごとに，取組を発表し合い，多様な視点から検討する。 4つの視点…継続性，快適さ，経済性，労力 (2)発表し，交流する。 10 各グループからの発表を参考にし，自分の家庭で自分ができることを考える。	工：自分の生活の状況を考えてながら，家庭で実践することが可能かどうかを判断し，環境に配慮した取組を決定する。 <学習プリント分析>	1	・家庭での実践ができるかどうかを判断して自分の生活に応じた環境に配慮した取組を決めることができる。	・発表を参考にし，自分の生活を考えながら，環境に配慮した取組を決めることができる。
11 選んだ環境のための取組を自分の家庭で実践する。 ・エコレポート 12 環境に配慮した取組をまとめて，「環境おすすめ実践ガイド」を作成し，学校・地域に発信する。 ・「環境おすすめ実践ガイド」	関：これまでの学習の成果を生かし，家庭でできる環境に配慮した取組を実践する。<レポート分析> 関：環境に配慮した取組を地域とともに進めていくことの大切さに気付く。 <学習プリント分析>	課外 1	・環境に配慮した取組を家庭で実践し，その方法や効果を報告することができる。 ・環境に配慮した取組を実践することを地域の人々に呼びかけようとする姿が見られる。	

